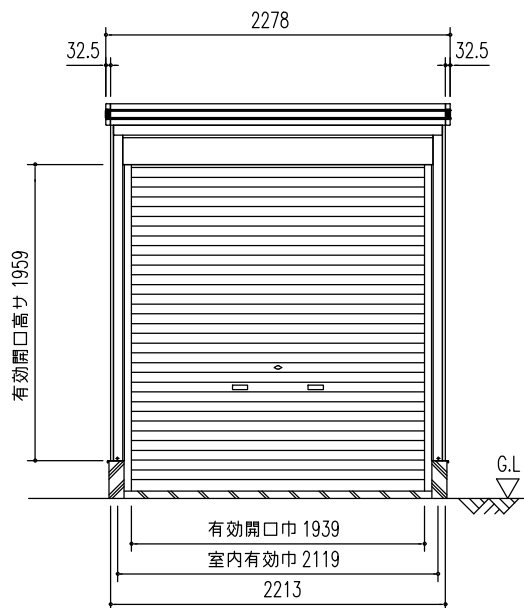
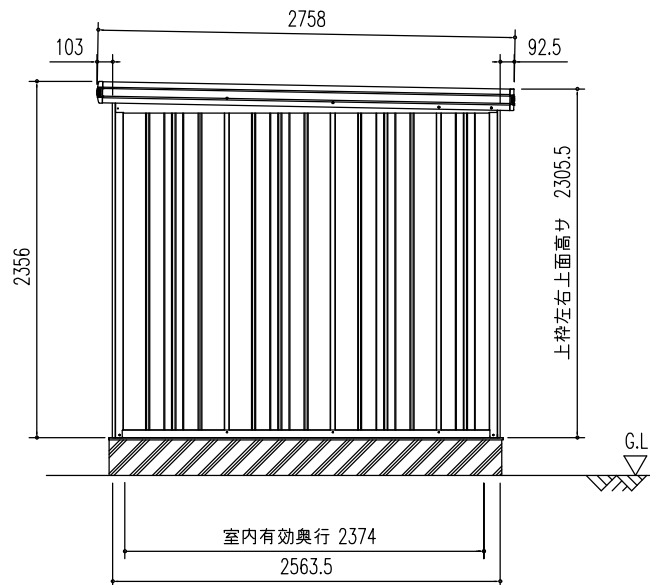
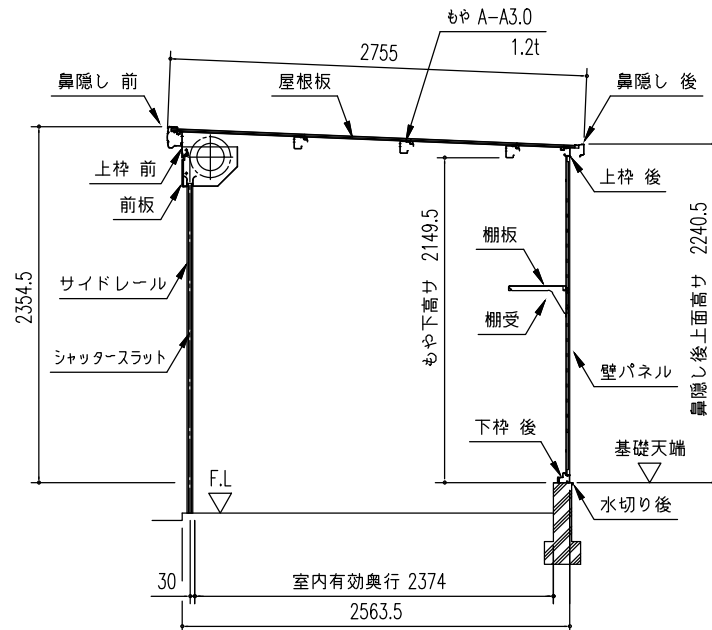




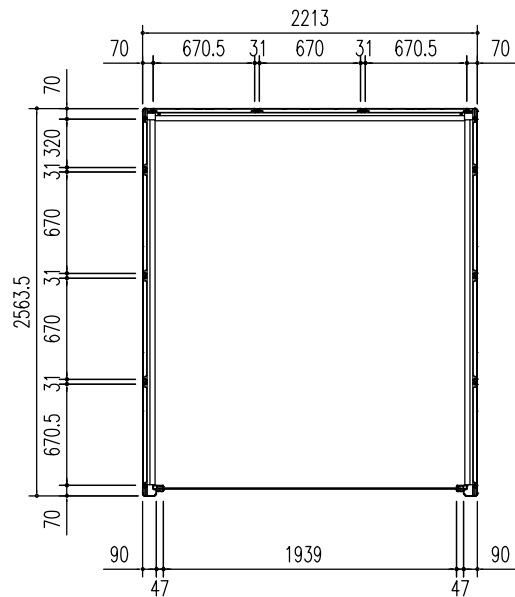
正面立面図 (S=1/50)



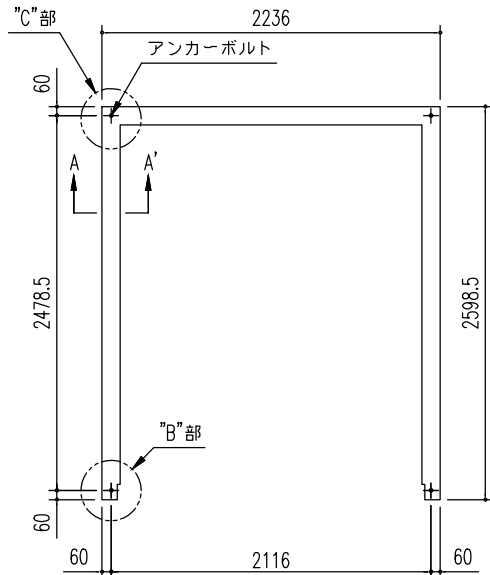
側面立面図 (S=1/50)



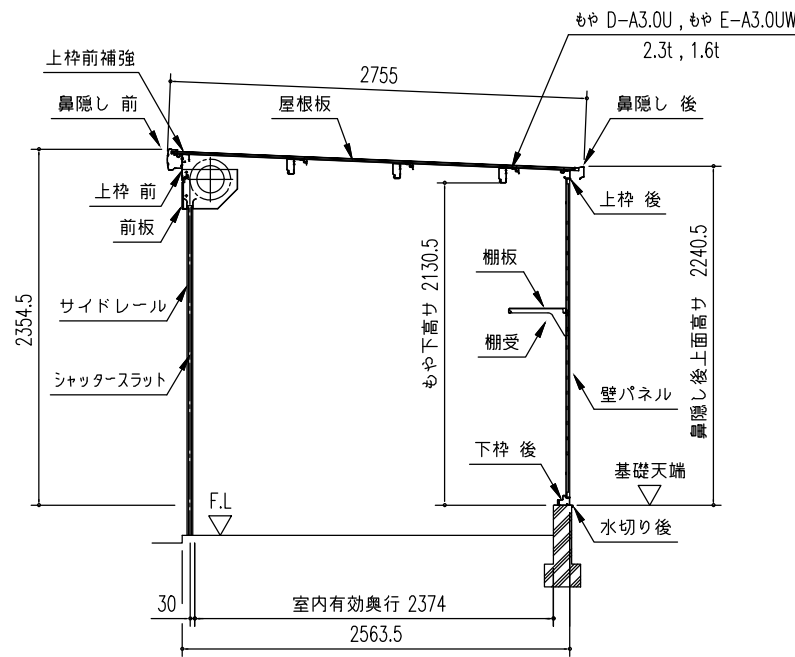
一般型矩計図 (S=1/50)



平面図 (S=1/50)



布基礎伏図 (S=1/50)



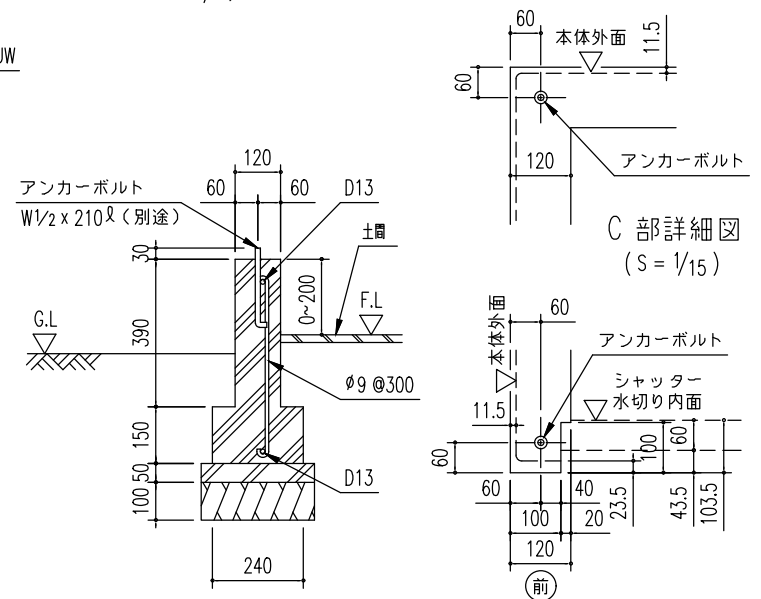
豪雪型矩計図 (S=1/50)

部 材 名	厚さ(㎜/m)	材 質
屋根板	0.4	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
＜一般型＞もや A-A3.0	1.2	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC
＜豪雪型＞もや D-A3.0U	2.3	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC
＜豪雪型＞もや E-A3.0UW	1.6	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC
下枠側・後	1.0	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
上 枠 前 (後)	1.0 (0.8)	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
上枠前補強 (豪雪型のみ)	1.2	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
上 枠 左,右	0.8	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC (サートンカラー)
鼻 隠 し 前	0.5	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC (サートンカラー)
鼻 隠 し 後	0.5	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
前 板	0.5	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
柱	0.8	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
シャッタースラット	0.5	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
シャッター水切り	－	アルミニウム合金押出型材
壁 パ ネ ル	0.5	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
間 柱 後	1.0	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
＜一般型＞間 柱 側	1.0	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
＜豪雪型＞間 柱 側	1.6	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC

部 材 名	サイズ (巾×高さ)
壁パネル H-A	670 x 2110

< 参考 >

基礎は建設省告示第1347号に準じて設定しておりますが、下記条件での参考図であり、現地の実情にあわせて設計して下さい。
(地耐力 50 kN/m² 以上,コンクリート設計基準強度 18 N/mm² 以上)
(基準風速 34 m/s, 地表面粗度区分 Ⅲ)



A ~ A' 断面
布基礎断面図例 (S=1/20)

B 部詳細図
(S=1/15)

- 注1) 地耐力が 50 kN/m² 未満 (30 kN/m² 以上) の場合、底盤幅を 300mm とし、かつ補強筋を入れて下さい。
注2) 寒冷地の場合、凍結深度等を考慮し、実情にあわせて設計して下さい。
注3) その他現地の実情にあわせて設計して下さい。
注4) 土間仕上げ (F.L) は、参考例です。
注5) 有効高さは、基礎高さを含みません。

名 称	ヨド物置 エルモシャッター <単棟型>	株式会社 ヨドコウ
機種名	LOD(U) -2225HD型 <1/1>	